

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公表番号】特表2016-516632(P2016-516632A)

【公表日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-035

【出願番号】特願2016-508948(P2016-508948)

【国際特許分類】

B 6 0 K 15/04 (2006.01)

F 0 2 M 37/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 15/04 F

F 0 2 M 37/00 3 0 1 M

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月27日(2017.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

本開示の種々の特徴は添付の特許請求の範囲内に記載されている。

なお、本発明は以下の特徴を以って実施することができる。

[特徴1]

不適切な燃料ノズルが燃料タンクへの燃料供給を防止する誤給油抑止装置(MFI)組立体であって、

MFIノズル通路を内部に形成した本体であって、該本体は、適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを可能にするように構成され、該本体は、前記不適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを防止する本体と、

給油ライン内にある前記本体に接続するように構成され、該本体を該給油ライン内に確実に保持する少なくとも1つの固定部材とを備える誤給油抑止装置組立体。

[特徴2]

前記少なくとも1つの固定部材は、

前記給油ライン内にある前記本体の第1の端部に接続する第1の固定部材と、

前記給油ライン内にある前記本体の前記第1の端部の反対側にある前記第2の端部に接続する第2の固定部材とを含む特徴1に記載のMFI組立体。

[特徴3]

前記少なくとも1つの固定部材は、前記給油ライン内に固定されるように構成されている平板状基部を有し、該平板状基部を通ってノズル固定通路が形成される特徴1に記載のMFI組立体。

[特徴4]

前記少なくとも1つの固定部材は、該少なくとも1つの固定部材から延び、該少なくとも1つの固定部材を前記給油ライン内に留めるように構成されている、少なくとも1つの弾性サスペンダーを更に含む特徴3に記載のMFI組立体。

[特徴5]

前記少なくとも1つの固定部材は、前記本体を前記給油ラインの拡張固定室内に固定する特徴1に記載のMFI組立体。

[特徴6]

前記少なくとも1つの固定部材と協働して前記MFI組立体を前記給油ライン内に固定するカバーを更に備える特徴1に記載のMFI組立体。

[特徴7]

前記本体は、作動リングと、該作動リングに枢動可能に取り付けられるフラップとを含む特徴1に記載のMFI組立体。

[特徴8]

前記少なくとも1つの固定部材は、カバー又は分離した別個のシールを用いずに前記本体を前記給油ライン内に固定する特徴1に記載のMFI組立体。

[特徴9]

不適切な燃料ノズルが燃料タンクへの燃料供給を防止する不適切な燃料ノズルの挿入抑止システムであって、

前記燃料タンクに接続する燃料供給管に接続する固定室を有する給油ラインであって、該固定室は第1の内径を有し、前記燃料供給管は、該第1の内径よりも小さい第2の内径を有する給油ラインと、

前記固定室内に固定される誤給油抑止装置(MFI)組立体とを備え、

前記MFI組立体は、

MFIノズル通路を内部に形成した本体であって、該本体は、適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを可能にするように構成され、該本体は、前記不適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを防止する本体と、

前記給油ライン内にある前記本体の第1の端部に接続し、前記燃料供給管に近接するが該燃料供給管に入ることはできない前方固定部材と、

前記給油ライン内にある前記本体の前記第1の端部の反対側にある第2の端部に接続する後方固定部材とを備え、

前記前方固定部材及び前記後方固定部材は、協働して前記本体を前記固定室内に固定する不適切な燃料ノズルの挿入抑止システム。

[特徴10]

前記給油ラインは、前記燃料供給ラインの反対側で前記固定室に接続するノズル入口を更に有し、該ノズル入口は、前記第2の内径よりも大きいが前記第1の内径よりも小さい第3の内径を有する特徴9に記載のシステム。

[特徴11]

前記MFI組立体は、前記ノズル入口に押し通されて前記固定室内に確実に留まるよう構成されている特徴10に記載のシステム。

[特徴12]

前記給油ラインは、前記燃料供給ラインの反対側で前記固定室に接続する開口部を更に有する特徴9に記載のシステム。

[特徴13]

前記前方固定部材及び前記後方固定部材の各々が、前記固定室内に固定されるように構成されている平板状基部を有し、該平板状基部を通ってノズル固定通路が形成される特徴9に記載のシステム。

[特徴14]

前記前方固定部材及び前記後方固定部材の各々が、該前方固定部材及び該後方固定部材から延び、前記平板状基部を前記固定室内に留めるように構成されている、少なくとも1つの弾性サスペンダーを更に含む特徴13に記載のシステム。

[特徴15]

前記MFI組立体は、前記前方固定部材及び前記後方固定部材と協働して該MFI組立体を前記固定室内に固定するカバーを更に備える特徴9に記載のシステム。

[特徴16]

前記本体は、作動リングと、該作動リングに枢動可能に取り付けられるフラップとを含む特徴9に記載のシステム。

[特徴17]

前記後方固定部材及び前記前方固定部材は、カバー又は分離した別個のシールを用いずに前記本体を前記固定室内に固定する特徴 9 に記載のシステム。

[特徴 18]

不適切な燃料ノズルが燃料タンクへの燃料供給を防止する誤給油抑止装置（MFI）組立体であって、該MFI組立体は、燃料供給管に接続する拡張固定室を有する給油ライン内に固定されるように構成され、

該MFI組立体は、

MFIノズル通路を内部に形成した本体であって、該本体は、適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを可能にするように構成され、該本体は、前記不適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを防止するように構成され、該本体は、作動リングと、該作動リングに枢動可能に取り付けられるフランプとを含む本体と、

前記給油ライン内にある前記本体の第1の端部に接続し、燃料供給管に近接するが該燃料供給管に入ることはできないサイズである前方固定部材と、

前記給油ライン内にある前記本体の前記第1の端部の反対側にある第2の端部に接続する後方固定部材とを備え、

前記前方固定部材及び前記後方固定部材は、協働して前記本体を前記給油ラインの前記固定室内に固定するように構成され、

前記前方固定部材及び前記後方固定部材の各々が、前記固定室内に固定されるように構成されている平板状基部を有し、該平板状基部を通ってノズル固定通路が形成される誤給油抑止装置組立体。

[特徴 19]

前記前方固定部材及び前記後方固定部材の各々が、該前方固定部材及び該後方固定部材から延び、前記平板状基部を前記固定室内に留めるように構成されている、少なくとも1つの弾性サスペンダーを更に含み、該後方固定部材及び該前方固定部材は、カバー又は分離した別個のシールを用いずに前記本体を前記固定室内に固定する特徴 18 に記載のMFI組立体。

[特徴 20]

前記前方固定部材及び前記後方固定部材と協働して前記MFI組立体を前記固定室内に固定するカバーを更に備える特徴 18 に記載のMFI組立体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

不適切な燃料ノズルが燃料タンクへの燃料供給を防止する誤給油抑止装置（MFI）組立体であって、

MFIノズル通路を内部に形成した本体であって、該本体は、適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを可能にするように構成され、該本体は、前記不適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを防止する本体と、

給油ライン内にある前記本体に接続するように構成され、該本体を該給油ライン内に確実に保持する少なくとも1つの固定部材とを備え、

前記少なくとも1つの固定部材が、前記本体を前記給油ラインに確実に連結し、前記給油ラインの内壁部分に係合、シールする可撓性で弾性を有した少なくとも1つの部分を備えている誤給油抑止装置組立体。

【請求項2】

不適切な燃料ノズルが燃料タンクへの燃料供給を防止する不適切な燃料ノズルの挿入抑制システムであって、

前記燃料タンクに接続する燃料供給管に接続する固定室を有する給油ラインであって、

該固定室は第1の内径を有し、前記燃料供給管は、該第1の内径よりも小さい第2の内径を有する給油ラインと、

前記固定室内に固定される誤給油抑止装置（MFI）組立体とを備え、

前記MFI組立体は、

MFIノズル通路を内部に形成した本体であって、該本体は、適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを可能にするように構成され、該本体は、前記不適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを防止する本体と、

前記給油ライン内にある前記本体の第1の端部に接続し、前記燃料供給管に近接するが該燃料供給管に入ることはできない前方固定部材と、

前記給油ライン内にある前記本体の前記第1の端部の反対側にある第2の端部に接続する後方固定部材とを備え、

前記前方固定部材が前記固定室の第1の内面に径方向外向きの力を印加する可撓性で弾性を有した少なくとも1つの第1の部分を含み、前記後方固定部材が前記固定室の第2の内面に径方向外向きの力を印加する可撓性で弾性を有した少なくとも1つの第2の部分を含み、

前記前方固定部材及び前記後方固定部材は、協働して前記本体を前記固定室内に固定する不適切な燃料ノズルの挿入抑止システム。

【請求項3】

不適切な燃料ノズルが燃料タンクへの燃料供給を防止する誤給油抑止装置（MFI）組立体であって、該MFI組立体は、燃料供給管に接続する拡張固定室を有する給油ライン内に固定されるように構成され、

該MFI組立体は、

MFIノズル通路を内部に形成した本体であって、該本体は、適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを可能にするように構成され、該本体は、前記不適切な燃料ノズルが前記MFIノズル通路を通過することを防止するように構成され、該本体は、作動リングと、該作動リングに枢動可能に取り付けられるフラップとを含む本体と、

前記給油ライン内にある前記本体の第1の端部に接続し、燃料供給管に近接するが該燃料供給管に入ることはできないサイズである前方固定部材と、

前記給油ライン内にある前記本体の前記第1の端部の反対側にある第2の端部に接続する後方固定部材とを備え、

前記前方固定部材が前記固定室の第1の内面に径方向外向きの力を印加する可撓性で弾性を有した少なくとも1つの第1の部分を含み、前記後方固定部材が前記固定室の第2の内面に径方向外向きの力を印加する可撓性で弾性を有した少なくとも1つの第2の部分を含み、

前記前方固定部材及び前記後方固定部材は、協働して前記本体を前記給油ラインの前記固定室内に固定するように構成され、

前記前方固定部材及び前記後方固定部材の各々が、前記固定室内に固定されるように構成されている平板状基部を有し、該平板状基部を通ってノズル固定通路が形成される誤給油抑止装置組立体。